



小坂観音の現在の鐘楼堂

崖を転がり大ナマズの頭にスツポリかぶさった小坂観音院の大釣り鐘はその後、国に大きな変事が起こる前に釣り鐘の音が鳴り響く事が有ったという。また、戦国時代京都攻めの途中没した武田信玄の石棺と共に梵鐘と馬具が小坂観音院沖に葬られ「国に何事か起ればこの梵鐘が水底で共鳴する」という信玄の戒めも伝えられている。どの様な音色なのか興味はあっても恐ろしくて決して聞きたくはないものである。

また、その頃全国的な冷害による凶作が続き花岡村は郷地の12方所を売り、村民救済に充てた。その記録によると売却額は総計約159両。そのうち鯰坂は4両2分であった。

力持ちで大男の音坊が大格闘の末捕まえた大ナマズとの出来事が坂道の名の由来となった鯰坂。約290年前の『諏訪藩主御手元絵図』にも記されている事から音坊と大ナマズの話は300年程前の出来事だったのではないだろうか。

天竜川沿いから鯰坂を上って行くとその先に赤い鳥居が連なる寿命稲荷や花岡城址へと続き、諏訪盆地を一望する絶景ポイントが待っている。

― 随時掲載

今回の筆者

涌井みち子さん

立川流建築彫刻研究者でス
ポーツインストラクターと
しても活動しています



- ・ ぶらり諏訪塾の冊子は
諏訪市観光案内所
(JR上諏訪駅内)
- ・ れすとらん割烹いすみ屋
(諏訪市諏訪)
- ・ 書店「言事堂」
(諏訪市末広)
- ・ すわ大昔情報センター
(諏訪市博物館内)
- ・ 諏訪書店 (通販のみ)
57・0997
- ・ 柏屋カフェ&ギャラリー
(諏訪市中洲神宮寺)
で販売中です。

詳しい場所などの問い合わせは
諏訪塾事務局(電話070・83
23・2107)へ。

